

資金調達に関する補足説明資料

2023年2月15日

UNITED&COLLECTIVE Copyright © 2023 UNITED & COLLECTIVE Co., Ltd.

コロナ禍

- 新型コロナ感染症の影響により人流が増減しており不安定
- 外食産業全体の客足は2019年対比で依然として回復に至らない状況

人手不足 原料費高騰

- 人手不足による人員確保のための時給引き上げ
- 採用教育コストの増加
- 燃料価格高騰による水道光熱費の高騰
- 円安進行に伴う原材料費の高騰

厳しい経営環境

- 売上高を着実に積み上げ綿密なコストコントロールを実施したものの、コロナ禍において経営状況は依然として厳しい状態
- エネルギー価格の上昇や人件費増加に伴い、今後もコストの上昇が見込まれる

リソースの集中

- 単一業態である「やるじゃない!」「なんしよう?」を「てけてけ」に業態転換
- 人流等の社会変化や競合等の環境変化を鑑み、大胆に不採算店整理をすることで固定費削減を計画
- 回復しつつある居酒屋事業へリソースを集中することにより収益性改善を計画

新たな試み

- 若い世代の居酒屋需要にフォーカスした「新てけてけ」へのリモデル化及びリニューアルを計画
- 「the 3rd Burger」においては「サード飯」に代表される新たな市場を開拓するための商品開発によりハンバーガーカフェの枠を超えたメニューMDの拡張を計画
- 既存業態と異なる新たな客層・ニーズを開拓するための新業態を開発
- 新規出店開発及びフランチャイズ展開の強化により、店舗網の再構築を計画

財務基盤の安定化

- 26年2月期末までに有利子負債約18億円の返済を予定、キャッシュポジションを維持・向上させる
- 23年2月期第3四半期末時点の債務超過を速やかに解消、上場維持への懸念を払拭する

資金調達の必要性

かかる状況においては抜本的な改革と投資の必要があり、本計画の実現に向けた資金を調達するための手段としてコミット・イシュー・プログラムを採用

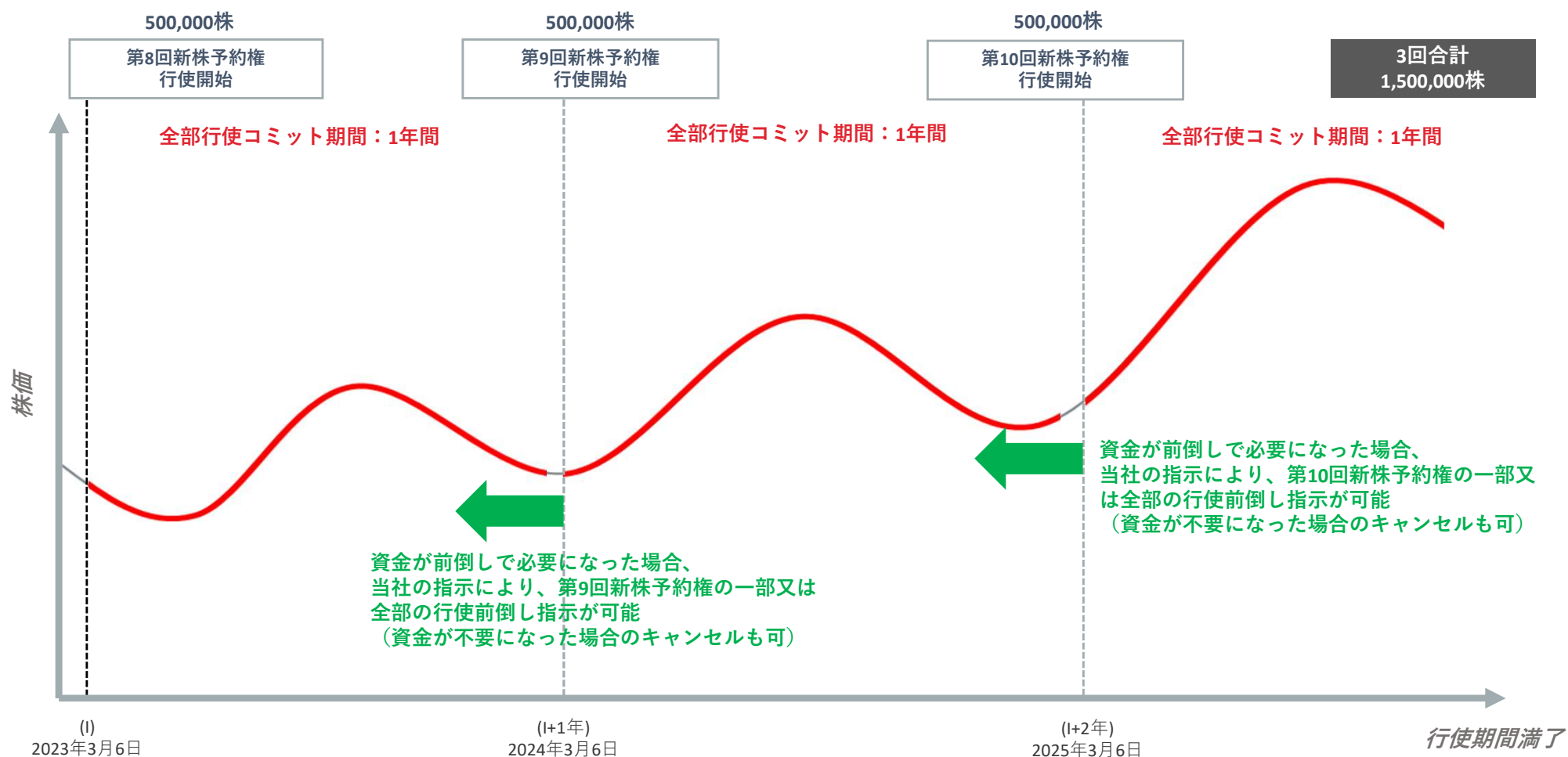
- ◆三回のコミット・イシューを組み合わせた手法（コミット・イシュー・プログラム）
- ◆コミット・イシューとは割当先が原則、一定期間において全株行使コミットをする調達蓋然性の高い資金調達手法
- ◆今回の想定調達額は約17.5億円

コミット・イシュー・プログラム			
回数	第8回新株予約権	第9回新株予約権	第10回新株予約権
株数	5,000個（500,000株）	5,000個（500,000株）	5,000個（500,000株）
発行価格	710,000円（1個につき142円）	630,000円（1個につき126円）	530,000円（1個につき106円）
行使価額	行使請求の都度、当該行使請求日の前取引日の終値の <u>94.0%</u> に修正（小数点以下切捨）	行使請求の都度、当該行使請求日の前取引日の終値の <u>94.5%</u> に修正（小数点以下切捨）	行使請求の都度、当該行使請求日の前取引日の終値の <u>95.0%</u> に修正（小数点以下切捨）
想定元本	約5.85億円	約5.88億円	約5.91億円
行使想定期間*	2023年3月6日～2024年3月5日	2024年3月6日～2025年3月5日	2025年3月6日～2026年3月5日
全部コミット	12ヶ月以内における5,000個の行使を原則コミット	12ヶ月以内における5,000個の行使を原則コミット	12ヶ月以内における5,000個の行使を原則コミット
行使前倒し指示	-	可能	可能

*行使前倒し指示及びコミット期間延長事由発生時を除く

新株予約権行使タイミング

- ◆ 2023年3月6日から一年毎に500,000株相当の新株予約権の行使がスタート
- ◆ 第9回新株予約権及び第10回新株予約権においては資金需要に応じて行使開始のタイミングを早めることが可能（行使前倒し指示）
- ◆ 全部コミット期間開始前であれば第9回新株予約権及び第10回新株予約権はキャンセル可能



※ 株価推移はあくまでイメージであり、株価予測ではありません。

※ 各回号の新株予約権に係る全部コミット期間中において、一定の事由が20回（20取引日）を超えて発生した場合、当該回号の新株予約権に係る全部コミットは消滅します。

200百万円

①不採算店の撤退及び業態変更

- ・ 今後収益を生み出さないと判断した店舗の撤退及び業態変更を計画
- ・ コロナ禍前対比で売上不調にある店舗や、土地・物件や業態の特性・構造等に問題を抱える店舗を整理予定。店舗撤退及び業態変更に関連する工事等の費用として総額200百万円を充当予定

300百万円

②既存店販売強化のための再投資

- ・ コロナ禍・SNSの発達・Z世代及びα世代など新しい文化・価値観に対応する店舗修繕・改装や業態コンセプトの見直しを計画
- ・ 「てけてけ」は約18年、「the 3rd Burger」は約10年経過しており、厨房機器や設備の修繕・メンテナンス、及び内外装のリニューアルを行うことで既存店の営業強化及び収益増大を図る
- ・ 直営既存店において1店舗あたり約4百万円の改装及び修繕を計画、改装及び修繕の費用として総額300百万円を充当予定

750百万円

③既存業態及び新業態の新規出店

- ・ 好調店舗の類似立地への展開に加え、既存業態と異なる新たな客層・マーケットを狙った新業態の新規出店として、計15店舗の新規出店費用として総額750百万円を充当予定
- ・ てけてけ：2024年2月期から2026年2月期において各期1店舗ずつの計3店舗を計画
- ・ 新業態：既存業態と異なるマーケット・コンセプトの業態を2024年2月期中に開発の上2店舗出店、2025年2月期に4店舗、2026年2月期に6店舗の計12店舗を計画

498百万円

④有利子負債返済資金

- ・ コロナ禍前及びコロナ禍で借入を行った有利子負債の返済への充当を計画
- ・ 2024年2月期から2026年2月期において約1,800百万円の元本返済が必要となり、そのうちの28%にあたる498百万円の返済への充当予定

本資料は、当社の資金調達に関する情報の提供を目的として作成したものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や将来予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

なお、資金調達についての詳細は2023年2月15日付当社プレスリリース「第8回乃至第10回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び新株予約権の買取契約（コミット・イシュー・プログラム）の締結並びに第7回新株予約権の買入消却に関するお知らせ」を参照ください。

お問い合わせ先
ユナイテッド & コレクティブ株式会社 IR担当
ir@united-collective.co.jp
<https://ir.united-collective.co.jp/top.html>